



「ぞっとしない」は「恐ろしくない」??

今年も文化庁から「国語に関する世論調査」の結果が発表されました。発表時、ニュースなどでも取り上げられていましたので、目にした方も多いかと思えます。

今回発表された平成28年度調査では、コミュニケーションの在り方・言葉遣いについて、相手に配慮したコミュニケーション、情報化の中でのコミュニケーション、書き言葉のコミュニケーションと、コミュニケーションに注目した質問が多く見られました。

また、「新しい表現や、慣用句等の意味・言い方」の項目では、「どちらの意味だと思うか」の質問に、下のような言葉が挙げられていました。本来の意味とされるものが**太字**、回答の多かった方が下線になっています。

「さわり」

- ①話などの要点のこと ②話などの最初の部分のこと

「ぞっとしない」

- ①恐ろしくない ②面白くない

「知恵熱」

- ①深く考えたり頭を使ったりした後の発熱 ②乳幼児期に突然起こることのある発熱

さらに、「どちらの言い方を使うか」という質問では、以下の表現が挙げられていました。

a 「口を濁す」 b 「言葉を濁す」

(はっきりと言わない曖昧な言い方)

a 「足下をすくわれる」 b 「足をすくわれる」

(卑劣なやり方で失敗させられること)

a 「存亡の機」 b 「存亡の危機」

(存続するか滅亡するかの重大な局面)

これらはすべて、回答の多かった言葉がどの年代でも同じで、上から「言葉を濁す」「足下をすくわれる」「存亡の危機」でした。さて、普段どちらを使っているでしょうか。そして、本来の言い方とされるのはどちらでしょうか*。

言葉は変遷するものではありませんが、一方で高校生など学生にとっては、入試等で意味や表現の形が問われるものでもあります。わからない言葉や曖昧な言い回しは常に辞書を引き、まずは意味や表現の形を調べてみる、そういった習慣をつけておきたいところです。

桐原書店のオススメ 漢字・語彙集

桐原書店では、常用漢字や入試漢字、現代文単語、語彙など、言葉の学習に関するさまざまな学習参考書をご用意しています。

ここでは、大好評の現代文単語と入試漢字をご紹介します。

現代文単語の決定版！
語意だけでなく、評論テーマも学べる！

読解を深める 現代文単語 〈評論・小説〉



徹底的に意味定着をはかる「分かる」など
漢字学習の重要な切り口が満載！

新版完全征服 頻出入試漢字 コア 2800

どちらも **無料学習アプリ**
「きりはらの森」に対応しています。 kiriharanomori.jp

